筑後川花火大会をみんなで見る会

筑後川花火大会等をはじめとする大きなイベントへの身体・精神・知的障害者等の参加をサポートし、障害者差別解消法の適正な運用を、各イベントの主催者にアドバイスする活動を行っています。

先輩から後輩へ受け継がれる想い

楢﨑　同団体は、社会人と学生が一緒に活動しています。参加者の方々からの”ありがとう”とメンバーの”やってよかった”という想いが代々継承され、毎年活動を続けています。

07 副実行委員長 楢﨑（ならさき） 一広（かずひろ）さん。

08 事務局長 田崎（たさき） 千尋（ちひろ）さん。

考え方や視野が広がった

田崎　参加者を花火大会に送迎し、花火を見てもらうとともに、参加者とボランティアの交流を行っています。車椅子の方の目線に合わせて話すことや補助の仕方に工夫をするなど、相手の立場に立つ姿勢が、私の中で育ちました。

地域の行事としての発展を期待

楢﨑　この活動の事が伝わり別の花火大会でも同じような活動が始まっていることを聞きました。活動の輪が、他の地域にも広がっていけばと期待しています。

パルキッズ久留米大学

平成 22 年 6 月に久留米大学の学生により結成し、現在は 15 名で、草野小学校を中心に、学校と家の間の子どもたちの地域の居場所づくりを行っています。

活動で心がけていること

学校の先生と違った関係で、大学生だからこそ、子どもたちと近い立場で、友達のような感覚で関わることができます。常に元気でいることを心がけ、“やってみよう”という気持ちを持ち続けることが大切です。

09 代表 井上（いのうえ） 亜美（あみ） さん。

子どもたちの成長や喜ぶ姿

子どもたちが楽しめるように考えて企画をしています。少し工夫をした時、子どもたちが喜んでくれるとやりがいを感じます。活動を通して、家事を進んで手伝うようになったという声や卒業した子どもたちが遊びに来て成長した姿を見ると、とっても嬉しいです。

将来の地域につながる夢

「地域活動をしたい」という学生の想いと「学生の関わりで地域を活性化したい」という地元の想いがマッチングして実現した取り組みです。将来は、その地域の良さを引き出して魅力を再発見し、活性化する地域をつくる仕事をしたいと思います。